

地域包括ケア総合支援チーム員 埼玉県移送サービスネットワーク笹沼和利 活動報告

- チーム員としての主な活動
 - 登録不要の活動をするための運転者講習
 - 包括支援センターによる買い物支援
 - 登録不要の活動相談
 - こま武蔵台団地グリーンスローモビリティ（グリスロ）実証実験の視察
 - 訪問Bによる移動支援などの話し合い

- 高齢者の移動問題への取り組み
 - 調査研究事業
移動支援はコロナにより活動が止まっているところが多い。一方、引きこもりが高齢者に及ぼす影響も計り知れない。検証を進めている
 - TMF（一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金）
ディーラーの車を使った登録不要の活動に関わる
 - グリスロ勉強会
埼玉に多いオールドニュータウンでの活用を目指す
 - 訪問B、Dの活用
取り組みやすくなってきたのでうまく活用したい

- その他——高齢者の移動関連情報
 - モビリティ分野は自治体にとってはおおきな課題で、MaaS (Mobility as a Service) やグリスロ、デマンド交通、乗り合いタクシー、貨客混載、自動運転、サブスクリプションなど様々な取り組みが行われている。また、民間企業もこの分野に参入してきている
 - 縦割り行政では対応不能に陥る。いかに横串を入れるかだろうと考える。福祉、交通だけでなく観光、農林業など様々な分野との連携が必要で、また、民間企業をはじめ様々な団体など多方面にわたる分野の知恵を集める必要がある

- 「高齢者の移動手段を確保するための制度・事業モデルパンフレット」（国交省）改訂版
19年10月に国交省の作ったパンフレットが3月に修正され公開予定。以前のパンフレットもかなり役に立つパンフレットだった。改正に当たっては私たちが国交省と協議を重ねてきた。今回は、特に訪問B、Dの具体的な活用や市町村の支援、また、ボランティア奨励金などの活用など市町村にとっても役立つ内容になった
※埼玉県移送サービスネットワークのウェブサイト上にアップします。ぜひご活用ください。
パンフレットで分からないことがありましたら、メールをいただければご説明します。